



「学び」は、人々がやりがいや生きがい、そしてしあわせを感じる暮らしを送るための原点です。

技術革新やグローバル化の急速な進展、少子高齢化や人口減少など、変化の激しい予測困難な時代において、子どもたちが、自らの人生と、仲間とともに暮らすこの社会をより良いものとしていくためには、答えに導く教育から、子どもたちが自ら問いを立て、答えを見出せるような教育に転換しなくてはなりません。

幸いにも本県には、子どもたちが豊かな自然や地域社会と主体的に向き合う中で、頭を働かせ、感性を磨き、体を鍛えていく、そのような教育実践を目指す風土があり、子どもを中心に据えた教育と、それを支える県民の教育尊重の気風があります。

また、人生100年時代を充実した人生にしていく上では、生涯にわたって学び続けることが重要です。

これまでも信州人は、子どもから大人までが自ら行動し、多様な価値観と影響し合いながら、実践的・協働的な「学び」を培い、「学び」の力で未来を切り拓いてきました。

こうした信州の特長を改めて捉え直し、これからの長野県教育のあり方を県民の皆様にお示しするため、第3次長野県教育振興基本計画を教育委員会とともに策定しました。

計画では、『学び』の力で未来を拓き、夢を実現する人づくり』を基本理念に掲げ、信州で学ぶ誰もが、未来を自ら切り拓き、夢を実現する力を身に付けることをめざすとともに、しあわせ信州創造プラン2.0（長野県総合5か年計画）の基本目標「確かな暮らしが営まれる美しい信州 ～学びと自治の力で拓く新時代～」の実現を支えてまいります。

計画策定にあたり、貴重なご意見・ご提言をいただいた県民の皆様、県議会をはじめお力添えをいただいた多くの皆様に御礼を申し上げるとともに、本計画の推進に是非ともご理解とご協力をお願いします。

2018年（平成30年）3月

長野県知事

阿部 奇一